■ポルトガル：再エネ事業者 EDP Renewables、浮体式洋上風力の 1 基目を設置

エネルギー情報サイトは 2019 年 10 月 21 日、ポルトガルで実施される浮体式洋上風力発電の 1 基目のタービンが立地地点まで曳航されたと報じた。WindFloat Atlantic と呼ばれるこのプロジェクトは、ポルトガル沖合 20km で実施され、ポルトガル大手電力事業者傘下の再生可能エネルギー専門会社である EDP Renewables（出資比率 54.4%）、フランスのエネルギー事業者 Engie（25%）、スペインの石油事業者 Repsol（19.4%）、米国の Principle Power（1.2%）によるコンソーシアムが実施主体である。タービンは MHI Vestas 製 V164-8.4 MW を採用しており、今後 2 カ月以内に 2 基が加えられ合計 3 基となる。洋上風力発電はこれまで多くの着床式事業が実施され、急速にコストダウンが進んでいるが、水深が 60m 以上の地点では浮体式とする必要があり、電力事業者を含む多くの企業や団体が浮体式の実証事業を計画・検討している。浮体式洋上風力発電の現在のコストは 0.18～0.20 ユーロ（約 22～24 円）／kWh であるが、2030 年には 0.04～0.06 ユーロ（約 4.8～7.2 円）／kWh まで低下すると予想されている。